

各 位

2024年5月15日

会社名： ^ヤ ^{シマ} 八 洲 電 機 株 式 会 社
 代表者名： 代表取締役 社長兼COO 清 宮 茂 樹
 (コード： 3153 東証プライム市場)
 問合せ先： 経営統括本部 ブランド戦略ユニット ユニットリーダー 菱 山 賢
 (TEL： 03-3507-3349)

中期経営計画の数値目標の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年3月19日に公表しました2024年度から2026年度まで（2025年3月期から2027年3月期まで）の3ヶ年の中期経営計画について、目標値の修正を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 修正の内容（連結経営目標）

	2026年度（2027年3月期）		【ご参考】2023年度実績 （2024年3月期）
	修正前	修正後	
売上高	680 億円	700 億円	648 億円
経常利益	43 億円	50 億円	40 億円
経常利益率	6.3 %	7.1 %	6.2 %

2. 修正の理由

当社グループは、本日公表した「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載したとおり、各事業部門において事業環境が当初の想定を上回り、上場以来最高益を達成しました。

中期経営計画期間においては、老朽設備の更新や設備の維持・保全案件に加え、付加価値の高いエンジニアリング案件で、顧客の戦略投資案件を獲得するなど、2024年度以降もプラント事業を中心として受注状況等が好調に推移する見通しとなったため、2026年度の目標値を上方修正するものであります。

なお、経営目標以外の基本方針等に変更はございません。

※ 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上

『 8 0 2 6 中期経営計画』

(2024年度～2026年度)

2024年5月15日
八洲電機株式会社

目次：

『 8 0 2 6 』 中期経営計画』 (2024年度～2026年度)

1. 振り返り（売上高と経常利益の推移）
2. 経営理念と経営ビジョン
3. 80/26中期経営計画

本資料に関するご注意

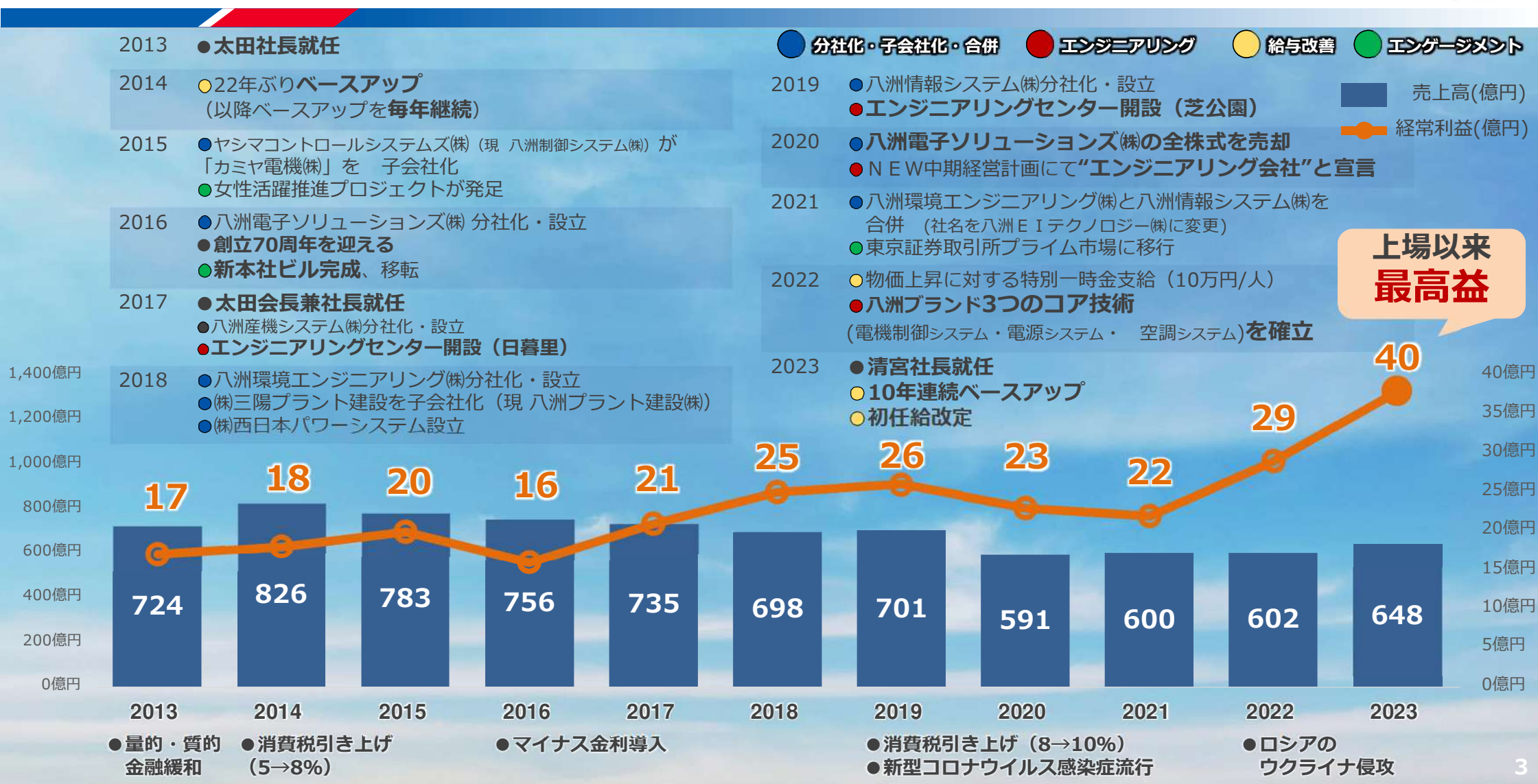
(将来予想について)

業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。

(画像使用について)

使用している一部の画像は、イメージ画像を使用しております。
無断転載・複製は禁止しております。

1. 振り返り（売上高と経常利益の推移）（1）



1. 振り返り（売上高と経常利益の推移）（2）

トップの強いリーダーシップによる意識改革

- 収益性の追求
- 利益率の高い案件の選択受注
- 分社化による経営への理解
- 事業の選択と集中

インナーブランディング浸透



2. 経営理念と経営ビジョン

2024年4月からスタートする中期経営計画策定に伴い
経営理念と経営ビジョンをブラッシュアップ

■ 経営理念

- 信 「社員と社会に信用・信頼される会社」
- 愛 「社員と社会に愛される会社」
- 和 「社員が協力・協調し、社会に貢献する会社」



■ 経営ビジョン NEW

クオリティの高いエンジニアリング力を通じ
社会に貢献するエクセレントカンパニーとして
サステナブルな未来を創造する

3. **8 0 2 6** 中期経営計画 ～ネーミング～

『創立**80**周年』となる『**2026**年』を
更なる飛躍の転換点とする

8 0 2 6 中期経営計画

(2024年4月1日～2027年3月31日)

3. 8 0 2 6 中期経営計画 ～位置づけ～

8 0 2 6 中期経営計画

2024～2026年度

80周年

100周年に向けて

～2046年度

ウェルビーイング経営の推進で
業績の向上を目指す

変化への適応

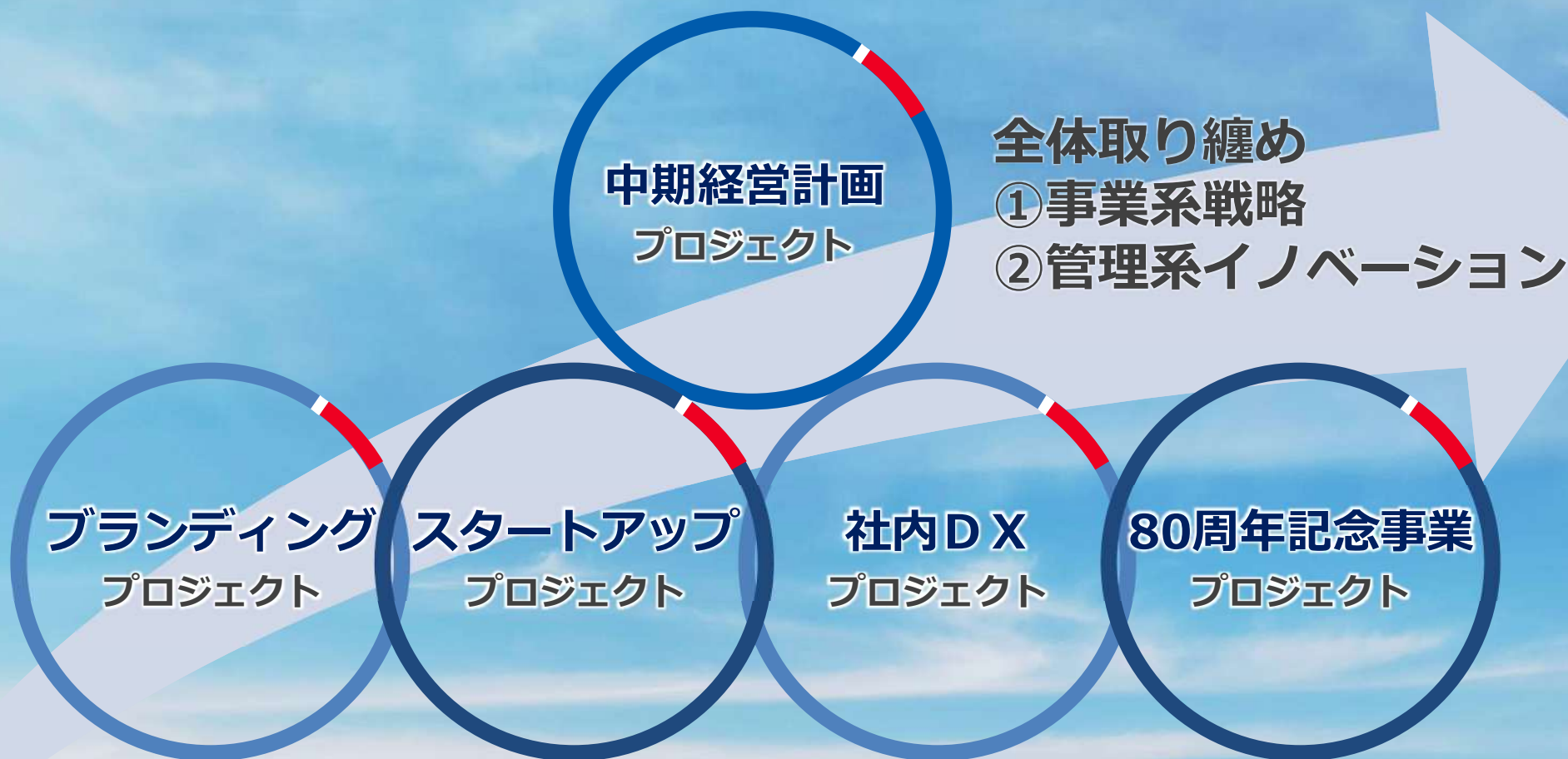
エンゲージメント向上

イノベーション

ブランディング

ウェルビーイング経営

3. 8 0 2 6 中期経営計画 ～推進体制～



3. 8026 中期経営計画

中期経営計画 プロジェクト

■ 基本方針

未来志向でウェルビーイング経営を推進し、
エンゲージメントを高め創立80周年を
更なる飛躍の転換点（ターニングポイント）にする

- ① 事業系戦略
- ② 管理系イノベーション

数値目標 『 8026 中期経営計画 』

2026年度	売上高	経常利益	経常利益率
目標値	700 億円	50 億円	7.1 %

3. 8 0 2 6 中期経営計画 ①事業系戦略

社会インフラに携わるお客様の経営課題を的確に捉え、エンジニアリングとグループ連携によって解決し、「収益の拡大」「事業規模の拡大」を図るとともに、躍進する「創立100周年」に向けた事業の基盤を構築する。

営業戦略

- 優良顧客開拓
- 西日本地区の体制強化
- グループシナジーを高める

技術戦略

- コア技術の進化と成長
- DX推進で業務効率化

エンジニアリングで
お客様の**経営課題**を解決します！



3. 8 0 2 6 中期経営計画 ②管理系イノベーション

■未来志向で、統合・再編による**業務改革**と**効率化**を推進

2023年度

CSR
統括本部

経営
統括本部

管理
統括本部

3統括本部を
統合・再編

経営統括

6ユニット

経営戦略Ⅰ

BS・PL・CF・無形資産の改革・強化

経営戦略Ⅱ

無形資産のうち人的資本の改善・強化

ブランド戦略

コーポレート・コミュニケーションの統括

法務

リスク管理面からの経営基盤強化

財務

バリューチェーンに対する統合的牽制

ウェルビーイング

就労環境からの従業員等モチベーション向上

2024年度

- 未来志向で、**統合・再編**による**業務改革**と**効率化**を推進
- 適材適所を実現する**人事考課の改定**
より適切な仕組みにアップデート
- 事業成長の原動力となる**処遇制度の改定**及び**処遇改善**
エンゲージメント向上と人財採用力の向上を図る
管理職給与制度の改定・給与水準の持続的改善

2024年度

統合・再編

2025年度

DX融合
ルール変更

2026年度

更なる進化

3. 8 0 2 6 中期経営計画

ブランディング プロジェクト

■ 目的

- トップの強いリーダーシップによる意識改革を継承
- ブランド価値を上げて収益向上に貢献する
- 八洲電機グループの持続的な発展、企業価値の向上
- エンゲージメント向上と社員の幸せの実現を図る
- エンゲージメント向上のためのアウトターブランディング

■ 体制 (2024年4月～)

経営統括本部

ブランド戦略ユニット

新設

インナーブランディングからアウトターブランディングへ

3. 8 0 2 6 中期経営計画

スタートアップ プロジェクト

■ 目的

八洲電機グループ全体で一致協力し、自ら新規事業を創出し、事業領域を拡大する

■ スタートアップ

① 保守ビジネス(2024年4月～)

- 電気設備のメンテナンス組織を新設し、循環型ビジネスを強化

エンジニアリング
統括本部

保守エンジニアリングセンター

新設

② プロセス冷熱ビジネス

- 新たなコア技術として成長させる

■ M & A

スタートアップの拡大を視野に入れたM & Aを検討

社内DX
プロジェクト

■ 目的

- ① 基幹システムを最新のシステムに切り替えることにより、機動性ある業務へ脱却を図る
- ② 基本業務の見直しに伴い、新しい業務方法を検討し業務効率を改善し省力化を図る

■ 新システムの考え方

Fit to Standard
基本機能で業務を行う

⇒ 業務に対する考え方の変革が必須

■ 工程

2024年度 スタート ⇒ 2025年度 導入予定

3. 8 0 2 6 中期経営計画

■ 目的

『全ては感謝を伝えるために、未来のために』

— お客様と社員への感謝と働く環境の改善 —

■ 内容

お客様向け行事

社員向け行事

社史編纂

社会貢献

オフィス美化

100周年ビジョン検討

80周年記念事業
プロジェクト